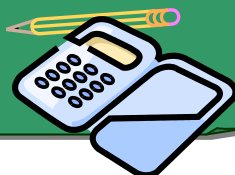


商業科目「簿記」における特殊仕訳帳を理解させる教材の作成

～単一仕訳帳制度と複合仕訳帳制度の違いに着目して～

商業班 毒島聖志（高等学校教諭）



生徒の現状と課題

単一仕訳帳制度 から 複合仕訳帳制度(特殊仕訳帳) の学習へ



手立て

プレゼンテーション資料で
帳簿組織や記帳の流れ、記帳方法を確認

■スクリーンの大きさを考慮してプレゼンテーション資料を作成した

何が変わったかを比べてみよう

- 単一仕訳帳制度
- 複合仕訳帳制度

記帳	仕訳	元帳	金額	金額
1	1	1	100,000	100,000
2	2	2	100,000	100,000

ここが会計処理に変わった!

- 単一・複合仕訳帳制度の帳簿組織の流れ
- 単一・複合仕訳帳制度の比較
- 特殊仕訳帳の記帳の流れや記帳方法

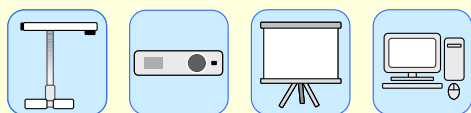
ワークシートで帳簿を比較し
特殊仕訳帳の合理性を実感

■問題を解く時間を短縮するために、記入する箇所を最小限にしたワークシートを作成した

- 同じ取引から、単一・複合仕訳帳制度を比較できるワークシート
- 同じ取引から、形式の違う特殊仕訳帳を比較できるワークシート

ICT機器を利用し教材を活用することで
板書や解説の効率化を図る

板書に時間が掛かる「帳簿」を実物投影機で映し、
直接書き込むことで、授業の効率が上がった



成果と課題

- それぞれの帳簿を比較することで、特殊仕訳帳の合理性や必要性に気づかせることができた。
- プレゼンテーション資料を用いることで、記帳の流れなどを視覚的に理解させることができた。
- ICT機器を利用することで、複雑な帳簿などの板書時間が省かれ、授業を効率良く展開できた。
- プロジェクターで提示する大きさに合わせて、教室のどの場所からでも見やすい教材にしていく。